

死者の多くは、地域紛争での「対岸の火事」で全く動じなくなってきた「球温暖化」の報に接しても、驚かなくなっています。

(図・1)は地球の現状で、インドでは、今年の6月だけでも最高気温が50℃という熱波が発生し、すでに100人以上が死んでいます。サウジアラビアのメッカでは、大巡礼中の1300人もの人々が熱中症で中米のメキシコでも、100人以上が熱波で死亡しています。

気候危機と熱波、降雨などの関連を研究する国際機関WVA(ワールド・ウェザー・アトリビューション)は「このまま気候危機が進めば、貧困や難民人口の多いアジアで、何百万人という単位の人々が熱波の影響を受ける」と警告しています。

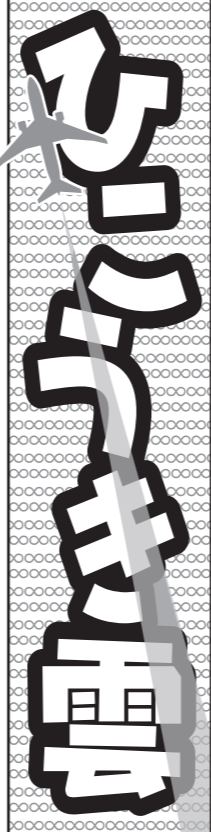
WMO(世界気象機関)は、今後の5年間の内に世界の平均気温がイギリスの産業革命前よ

最高気温、記録更新続き、日本全国30℃以上という異常高温が常態化。

# 2024年、目標1.5度達成は遠のく。

世界5位の温室効果ガス排出国で、発展途上国に技術や資金を提供する日本の役割と責任は重い。

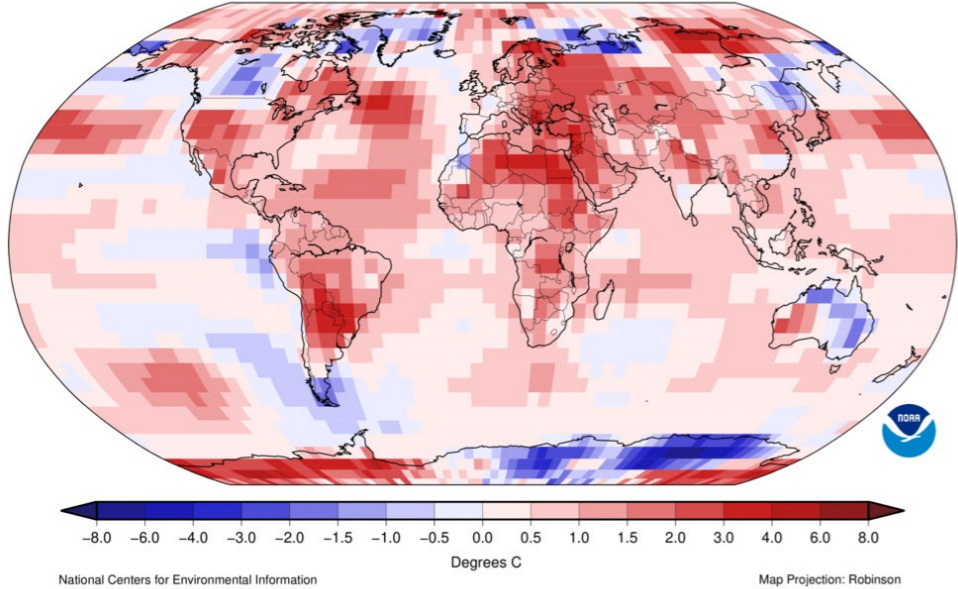
世界保険機関は深刻な熱波によって、熱中症だけでなく高齢者や新生児死亡が拡大すると警告！



発行所 株式会社 松下孝建設  
 発行人 松下 拓也  
 編集責任 齋藤 恭誠  
 ■本社  
 〒891-0108  
 鹿児島市中山1丁目14-29  
 TEL 099-267-7594  
 FAX 0120-079-089

Land & Ocean Temperature Departure from Average Jun 2024 (with respect to a 1991-2020 base period)

Data Source: NOAA GlobalTemp v6.0.0-20240708



2024年5月の世界気温の分布。1991~2020年の平均値との差。北半球やアフリカで高温傾向が目立つ

出典：米海洋大気局HP

温暖化対策が遅れている我が国は、欧米先進国から対応の遅さを非難されてきましたが、今まで、任意の基準でしかなかった住宅の「省エネルギー基準」(表・1)が、ようやく来年から義務化されます。

今回の法改正では、2025年から「平成28年基準(等級4)」をすべての新築住宅に義務付けることになっていきます。2022年3月時点で最高等級だった等級4(大手プレハブメーカーや建て売りメーカーが最高等級と宣伝してきた等級)になり、省エネ基準が一気に引き上げられることになりました。

## ようやく住宅の「省エネ基準」が義務化される日本の対応?

よりも、1.5℃を超える確率は80%以上に推計されています。更に悲劇的なこととして、このような絶望的な事態に及んでも「地球温暖化を認めよう」としない「トランプ」が、アメリカの大統領に返り咲く可能性が高くなっていることです。



| 表・1 実施年         | 2025年に義務化される 住宅省エネルギー基準の等級 | 開始年           |
|-----------------|----------------------------|---------------|
| 2025年~<br>適合義務化 | 等級7 HEAT20 G3相当            | 2022年<br>10月~ |
|                 | 等級6 HEAT20 G2相当            |               |
|                 | 等級5 ZEH基準 相当               | 2022年4月~      |
|                 | 等級4 平成28年(2016年)省エネ基準最高等級  |               |
|                 | 等級3 平成4年(1992年)省エネ基準最高等級   |               |
| 建築不可            | 等級2 昭和55年(1980年)省エネ基準最高等級  | 2022年<br>3月~  |
|                 | 等級1 無断熱(等級2に満たないもの)        |               |

北米で活路を見いだす、大手プレハブメーカーの姿? 来年から始まる「25年省エネ基準」は、大手プレハブメーカーには、等級4以上の施工を常態化するには、中々厳しいようで、人口の削減が直接的な要因と言われますが、大手プレハブメーカーは、日本での住宅市場の拡大を諦め、北米やアジアで活路を見いだしていることがTV・新聞記事で紹介されてきました。

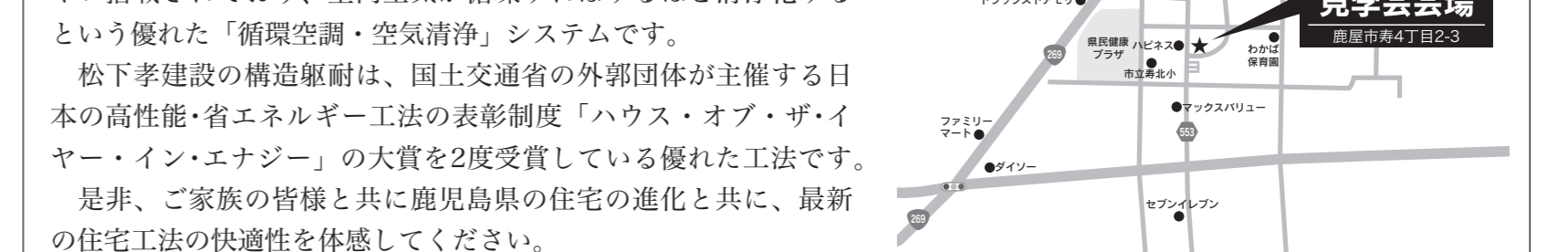
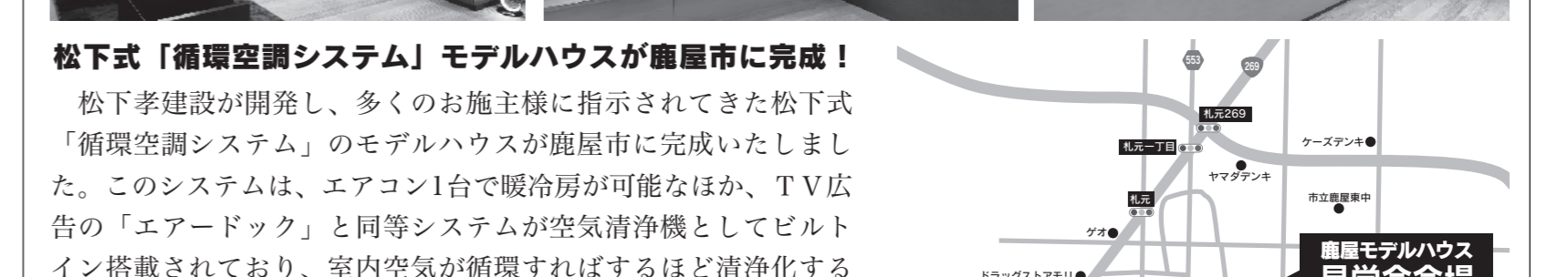
住宅建築のご計画がございまして、是非、松下建設に相談ください。お建てになる環境に合わせた本物の高性能住宅をお建て致します。

夜を造ってしまうことです。住宅建築のご計画がございまして、是非、松下建設に相談ください。お建てになる環境に合わせた本物の高性能住宅をお建て致します。

「エコハート21工法は20年前から等級5・6で施工」(表・1)の等級6・7は、「HEAT20」G2・G3相当と記載されていますが一般には、何のことが解りにくくはないかと思えます。「HEAT20」とは、大学教授や設計・施工会社など、民間の有識者による住宅建築に関する国への提言機関として発足し、当初の正式名称は「2020年を見据えた住宅の高断熱化技術委員会」です。弊社は「HEAT20」の賛助会員ですが、当初は推薦を受けてようやく賛助会員になれる程、権威のある会でした。等級6・7は「HEAT20」が認定・公表し、国に提示した住宅性能のことです。弊社は現在進行中の等級4が最高基準の時代に、すでにそれを上回る高性能住宅を建ててまいりました。それだけ本気で「SDGs」や「地球温暖化対策」に真剣に向き合ってきました。それが「ハウス・オブ・ザ・イヤー」二度受賞に表れていると自負しております。地球環境の異常は、真夏の異常気象として、今まさに我々が直接体験していることです。断熱材の大量施工で数値的には簡単に、最高等級7も実現できるはずなのに「過剰断熱」は及ばざるがごとし「過剰断熱」で、冬に不快な「夏の熱帯夜」を造ってしまうことです。

「エコハート21工法は20年前から等級5・6で施工」(表・1)の等級6・7は、「HEAT20」G2・G3相当と記載されていますが一般には、何のことが解りにくくはないかと思えます。「HEAT20」とは、大学教授や設計・施工会社など、民間の有識者による住宅建築に関する国への提言機関として発足し、当初の正式名称は「2020年を見据えた住宅の高断熱化技術委員会」です。弊社は「HEAT20」の賛助会員ですが、当初は推薦を受けてようやく賛助会員になれる程、権威のある会でした。等級6・7は「HEAT20」が認定・公表し、国に提示した住宅性能のことです。弊社は現在進行中の等級4が最高基準の時代に、すでにそれを上回る高性能住宅を建ててまいりました。それだけ本気で「SDGs」や「地球温暖化対策」に真剣に向き合ってきました。それが「ハウス・オブ・ザ・イヤー」二度受賞に表れていると自負しております。地球環境の異常は、真夏の異常気象として、今まさに我々が直接体験していることです。断熱材の大量施工で数値的には簡単に、最高等級7も実現できるはずなのに「過剰断熱」は及ばざるがごとし「過剰断熱」で、冬に不快な「夏の熱帯夜」を造ってしまうことです。

# 鹿屋モデルハウス グランドオープン!!



松下式「循環空調システム」モデルハウスが鹿屋市に完成！  
 松下孝建設が開発し、多くのお施主様に指示されてきた松下式「循環空調システム」のモデルハウスが鹿屋市に完成いたしました。このシステムは、エアコン1台で暖冷房が可能のほか、TV広告の「エアードック」と同等システムが空気清浄機としてビルトイン搭載されており、室内空気が循環すればするほど清浄化するという優れた「循環空調・空気清浄」システムです。  
 松下孝建設の構造躯体は、国土交通省の外郭団体が主催する日本の高性能・省エネルギー工法の表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」の大賞を2度受賞している優れた工法です。是非、ご家族の皆様と共に鹿児島県の住宅の進化と共に、最新の住宅工法の快適性を体感してください。

松下式「循環空調システム」モデルハウスが鹿屋市に完成！  
 松下孝建設が開発し、多くのお施主様に指示されてきた松下式「循環空調システム」のモデルハウスが鹿屋市に完成いたしました。このシステムは、エアコン1台で暖冷房が可能のほか、TV広告の「エアードック」と同等システムが空気清浄機としてビルトイン搭載されており、室内空気が循環すればするほど清浄化するという優れた「循環空調・空気清浄」システムです。  
 松下孝建設の構造躯体は、国土交通省の外郭団体が主催する日本の高性能・省エネルギー工法の表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」の大賞を2度受賞している優れた工法です。是非、ご家族の皆様と共に鹿児島県の住宅の進化と共に、最新の住宅工法の快適性を体感してください。

住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。 ☎0120-079-089